



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 いすゞ自動車株式会社

コード番号 7202 URL <https://www.isuzu.co.jp/company/investor/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 片山 正則

問合せ先責任者 (役職名) 広報・渉外部長 (氏名) 前田 拓生 TEL 045-299-9099

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,493,332	30.4	112,194	15.3	125,498	17.7	72,996	2.6
2022年3月期第2四半期	1,145,050	44.4	97,294	479.3	106,622	528.9	71,142	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 139,272百万円 (44.5%) 2022年3月期第2四半期 96,377百万円 (491.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	94.17	—
2022年3月期第2四半期	91.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	3,008,984	1,467,022	42.3
2022年3月期	2,856,139	1,394,425	41.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 1,271,561百万円 2022年3月期 1,194,101百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	29.00	—	37.00	66.00
2023年3月期	—	36.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	36.00	72.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,100,000	23.3	230,000	22.9	245,000	17.6	140,000	10.9	180.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) 除外 ー社 (社名)
(注) 当四半期連結累計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	777,442,069株	2022年3月期	777,442,069株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	2,243,540株	2022年3月期	2,307,049株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	775,168,298株	2022年3月期2Q	774,398,665株

(注) 「②期末自己株式数」には、自己株式のほかに取締役等を受益者とする信託が保有する当社株式を加算しています。「③期中平均株式数」の計算におきましては、自己株式のほかに取締役等を受益者とする信託が保有する当社株式を控除しています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報の概況」をご覧ください。
- ・ 決算説明会資料は2022年11月9日(水)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績の概況	2
(2) 財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報の概況	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(セグメント情報)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(重要な後発事象)	9
3. 補足情報	10
(1) 販売の状況	10
① 地域別販売実績	10
② 海外売上高	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績の概況

当第2四半期連結累計期間の商用車需要は、海外市場を中心に堅調に推移しました。サプライチェーンの混乱により生産に影響が出たものの、国内と海外を合わせた総販売台数は前第2四半期連結累計期間に比べ57,433台(21.8%)増加し321,266台となりました。

国内車両販売台数につきましては、生産面の影響を受け、前第2四半期連結累計期間に比べ5,743台(19.6%)減少の23,540台となりました。一方、海外車両販売台数につきましては、ピックアップトラックを中心に販売台数が増加し、前第2四半期連結累計期間に比べ63,176台(26.9%)増加の297,726台となりました。

車両以外の商品の売上高につきましては、海外生産用部品が前第2四半期連結累計期間に比べ8億円(3.4%)増加し254億円となり、エンジン・コンポーネントは、前第2四半期連結累計期間に比べ181億円(26.5%)増加の865億円となりました。また、その他の売上高につきましても、前第2四半期連結累計期間に比べ461億円(16.8%)増加の3,202億円となりました。

これらの結果、売上高につきましては、前第2四半期連結累計期間に比べ3,482億円(30.4%)増加の1兆4,933億円となりました。内訳は、国内が4,462億円(前第2四半期連結累計期間比9.1%増)、海外が1兆470億円(前第2四半期連結累計期間比42.2%増)です。

損益につきましては、資材費・物流費の高騰によるコストの増加はあったものの、販売台数の増加に加え、円安効果もあり、営業利益は1,121億円(前第2四半期連結累計期間比15.3%増)、経常利益は1,254億円(前第2四半期連結累計期間比17.7%増)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は729億円(前第2四半期連結累計期間比2.6%増)と、増収増益となりました。

(2) 財政状態の概況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,528億円増加し、3兆89億円となりました。主な要因としましては、ディーマックスリミテッド株式を売却したこと及び上場株式時価の減少により、投資有価証券が270億円減少した一方で、現金及び預金が188億円、棚卸資産が1,283億円及び繰延税金資産が121億円増加したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べて802億円増加し、1兆5,419億円となりました。主な要因としましては、有利子負債が375億円並びに支払手形及び買掛金が334億円増加したことによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて725億円増加し、1兆4,670億円となりました。主な要因としましては配当により利益剰余金が287億円減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益729億円を計上したことや、為替換算調整勘定が484億円増加したことによります。

自己資本比率は42.3%(前連結会計年度末41.8%)となりました。

有利子負債につきましては、前連結会計年度末に比べて375億円増加の5,680億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報の概況

当連結会計年度の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の実績を踏まえ、各国市場の最新の経済動向を反映した販売計画に基づき、下記のとおり修正いたします。

半導体供給の回復が想定に対して遅れており、車両販売台数は2022年3月期決算発表時(2022年5月13日)の見通しをやや下回る見込みです。一方、売上高は大幅な円安進行を受け、増収を見込みます。

損益につきましては、資材費の更なる高騰及び半導体不足の影響が見込まれますが、売上構成の改善及び為替効果により増益を見込みます。

2023年3月期の通期業績予想につきましては以下の通りです。

[連結業績の見通し]

売上高	3兆1,000億円
営業利益	2,300億円
経常利益	2,450億円
親会社株主に帰属する当期純利益	1,400億円

※当連結会計年度の見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が合理的と判断した見通しであり、世界経済の情勢や市場の動向、為替相場の変動などリスクや不確実性を含んでおります。

実際の業績はこれら見通しと大きく異なる場合がありますので、この当連結会計年度の見通しに全面的に依拠して投資等の判断を行うことは差し控えるようお願いいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	356,018	374,884
受取手形、売掛金及び契約資産	371,249	378,577
リース債権及びリース投資資産	190,522	190,812
商品及び製品	281,309	377,599
仕掛品	49,946	55,222
原材料及び貯蔵品	146,422	173,203
その他	96,494	105,378
貸倒引当金	△1,217	△2,688
流動資産合計	1,490,745	1,652,990
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	209,638	217,307
機械装置及び運搬具（純額）	168,786	171,317
土地	371,765	371,126
リース資産（純額）	7,346	6,308
賃貸用車両（純額）	85,727	85,265
建設仮勘定	44,914	34,453
その他（純額）	30,702	44,921
有形固定資産合計	918,881	930,699
無形固定資産		
のれん	20,519	17,846
その他	66,887	58,681
無形固定資産合計	87,407	76,528
投資その他の資産		
投資有価証券	249,832	222,794
長期貸付金	1,035	1,063
退職給付に係る資産	3,144	3,427
繰延税金資産	55,095	67,240
その他	51,534	55,587
貸倒引当金	△1,537	△1,348
投資その他の資産合計	359,104	348,765
固定資産合計	1,365,394	1,355,993
資産合計	2,856,139	3,008,984

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	436,365	469,794
電子記録債務	60,332	58,888
短期借入金	139,160	139,878
リース債務	8,659	7,376
未払法人税等	27,593	22,863
未払費用	100,735	100,779
賞与引当金	23,553	23,840
役員賞与引当金	246	26
製品保証引当金	5,075	5,121
預り金	4,898	9,064
その他	91,576	99,681
流動負債合計	898,195	937,315
固定負債		
社債	80,000	80,000
長期借入金	286,650	318,675
リース債務	16,009	22,078
繰延税金負債	4,272	5,636
再評価に係る繰延税金負債	42,135	42,135
メンテナンス引当金	6,170	6,725
役員株式給付引当金	418	506
退職給付に係る負債	97,151	96,915
製品保証引当金	4,859	4,912
長期預り金	2,723	2,625
その他	23,127	24,434
固定負債合計	563,518	604,646
負債合計	1,461,714	1,541,962
純資産の部		
株主資本		
資本金	40,644	40,644
資本剰余金	42,606	41,116
利益剰余金	928,371	970,020
自己株式	△3,290	△3,200
株主資本合計	1,008,332	1,048,581
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53,990	41,824
繰延ヘッジ損益	△1,102	△382
土地再評価差額金	83,952	83,952
為替換算調整勘定	49,459	97,927
退職給付に係る調整累計額	△531	△341
その他の包括利益累計額合計	185,768	222,980
非支配株主持分	200,324	195,460
純資産合計	1,394,425	1,467,022
負債純資産合計	2,856,139	3,008,984

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	1,145,050	1,493,332
売上原価	929,479	1,215,002
売上総利益	215,570	278,329
販売費及び一般管理費	118,276	166,135
営業利益	97,294	112,194
営業外収益		
受取利息	1,650	2,294
受取配当金	3,004	3,267
持分法による投資利益	5,050	3,367
為替差益	931	4,431
その他	2,341	2,654
営業外収益合計	12,978	16,015
営業外費用		
支払利息	1,104	1,212
訴訟和解金	87	3
通貨オプション料	126	447
その他	2,331	1,048
営業外費用合計	3,650	2,711
経常利益	106,622	125,498
特別利益		
固定資産売却益	172	74
投資有価証券売却益	128	1,219
特別利益合計	300	1,294
特別損失		
固定資産処分損	876	605
減損損失	210	38
投資有価証券売却損	4	13
投資有価証券評価損	38	152
新型コロナウイルス感染症に関する損失	77	—
特別損失合計	1,207	809
税金等調整前四半期純利益	105,716	125,983
法人税等	21,068	32,693
四半期純利益	84,647	93,290
非支配株主に帰属する四半期純利益	13,505	20,293
親会社株主に帰属する四半期純利益	71,142	72,996

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	84,647	93,290
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,092	△12,183
繰延ヘッジ損益	519	719
為替換算調整勘定	△8,289	47,694
退職給付に係る調整額	461	209
持分法適用会社に対する持分相当額	3,945	9,542
その他の包括利益合計	11,730	45,982
四半期包括利益	96,377	139,272
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	84,783	110,208
非支配株主に係る四半期包括利益	11,593	29,064

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	105,716	125,983
減価償却費	46,807	52,203
のれん償却額	1,652	1,873
持分法による投資損益 (△は益)	△5,050	△3,367
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	250	△70
賞与引当金の増減額 (△は減少)	868	△413
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△341	△194
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	479	1,225
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△714	△596
メンテナンス引当金の増減額 (△は減少)	438	555
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	71	88
受取利息及び受取配当金	△4,654	△5,562
支払利息	1,104	1,212
固定資産売却損益 (△は益)	△172	△74
固定資産処分損益 (△は益)	876	605
投資有価証券売却損益 (△は益)	△123	△1,206
投資有価証券評価損益 (△は益)	38	152
減損損失	210	38
売上債権の増減額 (△は増加)	73,450	12,621
リース債権及びリース投資資産の増減額 (△は増加)	△4,791	△170
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△40,551	△90,052
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△5,073	445
仕入債務の増減額 (△は減少)	△23,231	△1,200
未払費用の増減額 (△は減少)	△2,082	554
預り金の増減額 (△は減少)	119	3,658
その他の負債の増減額 (△は減少)	△10,729	△2,449
その他	130	△1,953
小計	134,699	93,904
利息及び配当金の受取額	5,043	7,659
利息の支払額	△1,136	△1,204
法人税等の支払額	△24,433	△41,062
営業活動によるキャッシュ・フロー	114,173	59,296
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△42,936	△8
投資有価証券の売却による収入	358	19,691
固定資産の取得による支出	△46,651	△49,787
固定資産の売却による収入	3,564	2,959
長期貸付けによる支出	△113	△168
長期貸付金の回収による収入	146	186
短期貸付金の増減額 (△は増加)	6	△10
定期預金の増減額 (△は増加)	△175	△86
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△284,553	—
その他	△826	305
投資活動によるキャッシュ・フロー	△371,181	△26,916

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	26,121	△15,788
長期借入れによる収入	196,500	90,000
長期借入金の返済による支出	△20,601	△41,530
社債の発行による収入	30,000	—
非支配株主からの払込みによる収入	—	8,942
リース債務の返済による支出	△2,434	△2,903
自己株式の処分による収入	42,822	—
自己株式の取得による支出	△2,253	△4
配当金の支払額	△14,768	△28,740
非支配株主への配当金の支払額	△12,322	△34,058
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	—	7,343
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△17,829
財務活動によるキャッシュ・フロー	243,063	△34,569
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,021	21,049
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△17,965	18,860
現金及び現金同等物の期首残高	386,670	341,713
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	△1,620
現金及び現金同等物の四半期末残高	368,704	358,953

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

当社グループは、自動車及び部品並びに産業用エンジンの製造、販売(自動車事業)を主な事業とする単一セグメントであるため、記載を省略しています。

当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

当社グループは、自動車及び部品並びに産業用エンジンの製造、販売(自動車事業)を主な事業とする単一セグメントであるため、記載を省略しています。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしました。これによる当第2四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(米国会計基準ASU第2016-02「リース」の適用)

米国における在外連結子会社では、第1四半期連結会計期間の期首から米国会計基準ASU第2016-02「リース」(以下「本基準」という。)を適用しています。これに伴い、借手のリース取引については、原則全てのリースについて使用権資産及びリース債務を認識しています。

本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しています。

本基準の適用に伴い、当第2四半期連結会計期間の四半期連結貸借対照表において有形固定資産が4,870百万円、流動負債が778百万円、固定負債が4,575百万円それぞれ増加しています。なお、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 販売の状況

①地域別販売実績

前第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結累計期間の販売実績は、次のとおりです。

		前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		増減	
		台数(台)	金額 (百万円)	台数(台)	金額 (百万円)	台数(台)	金額 (百万円)
	国内	13,591	129,975	12,734	135,907	△857	5,932
	海外	21,517	114,263	30,258	190,403	8,741	76,140
大型・中型車計		35,108	244,239	42,992	326,311	7,884	82,072
	国内	15,692	60,999	10,806	44,373	△4,886	△16,626
	海外	213,033	472,654	267,468	690,419	54,435	217,765
小型車他計		228,725	533,653	278,274	734,793	49,549	201,140
	国内	29,283	190,975	23,540	180,281	△5,743	△10,694
	海外	234,550	586,917	297,726	880,823	63,176	293,906
車両計		263,833	777,893	321,266	1,061,104	57,433	283,211
	海外	—	24,634	—	25,474	—	840
海外生産用部品		—	24,634	—	25,474	—	840
	国内	—	27,414	—	30,432	—	3,018
	海外	—	40,987	—	56,076	—	15,089
エンジン・コンポーネント		—	68,401	—	86,508	—	18,107
	国内	—	190,510	—	235,523	—	45,013
	海外	—	83,611	—	84,720	—	1,109
その他		—	274,121	—	320,244	—	46,123
	国内	—	408,899	—	446,237	—	37,338
	海外	—	736,150	—	1,047,095	—	310,945
売上高合計		—	1,145,050	—	1,493,332	—	348,282

②海外売上高

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	78,846	318,631	338,672	736,150
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	1,145,050
III 海外売上高の連結売上高に占める割合(%)	6.9	27.8	29.6	64.3

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によります。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米…米国

(2) アジア…タイ、中国、ベトナム、フィリピン

(3) その他の地域…サウジアラビア、オーストラリア、コロンビア、南アフリカ、イタリア

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	110,349	468,275	468,470	1,047,095
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	1,493,332
III 海外売上高の連結売上高に占める割合(%)	7.4	31.4	31.4	70.1

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によります。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米…米国

(2) アジア…タイ、中国、インドネシア、フィリピン

(3) その他の地域…サウジアラビア、オーストラリア、コロンビア、南アフリカ、イタリア

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高です。